

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	保健体育 I	
科目基礎情報							
科目番号	2022-454			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	佐藤 誠,渡邊 志保美						
到達目標							
スポーツの実践を通じ、自らの能力に見合った目標を設定し、他者と協力して行動していく中で人間力の向上を図ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 トレーニングができる	積極的にトレーニングできる			トレーニングができる		トレーニングができない	
評価項目2 各種の技能を習得できる	各種の技能を習得できる			技能を習得できる		技能を習得できない	
評価項目3 知識を習得できる	範囲内の知識をすべて理解できる			範囲内の知識を概ね理解できる		範囲内の知識を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5							
教育方法等							
概要	応急処置について理解し実践できるようになる。保健についての知識を得て健康や安全に配慮して生活できるようにする。定期的にフィジカルトレーニングを行い健康な体作りをする。						
授業の進め方・方法	テキストは使用しないが、必要に応じて資料を配付する。各項目のレポート提出・トレーニングの記録を60%、授業への参加率、参加態度を20%として評価する。60点以上を合格とする。						
注意点	1.評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		今年度の授業概要を理解し、自分の目標設定ができる。		
		2週	安全教育		緊急時の応急処置ができる。		
		3週	安全教育		さまざまな怪我に対する応急処置ができる。		
		4週	保健		安全についての知識が理解できる。		
		5週	保健		健康についての知識が理解できる。		
		6週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		7週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		8週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
	2ndQ	9週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		10週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		11週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		12週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		13週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		14週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		15週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		16週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
後期	3rdQ	1週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		2週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		3週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		4週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		5週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		
		6週	フィジカルトレーニング		フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。		

		7週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		8週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
	4thQ	9週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		10週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		11週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		12週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		13週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		14週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		15週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。
		16週	フィジカルトレーニング	フィジカルトレーニングの内容を理解し、実践できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	前1,前13
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	前13
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前13
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前13
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	前13
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	前13
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	前13
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	前13
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	前13
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	前13
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	2	前13
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	2	前13
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	2	前13
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	前13
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	前13
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	1	前1
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	1	前1
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	1	前1
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	1	前13

評価割合

	試験60	発表	相互評価	態度20	ポートフォリオ	その他20	合計
総合評価割合	60	0	0	20	0	20	100
基礎的能力	30	0	0	20	0	20	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0